

政策評価書（要旨）（事前の事業評価）

事業名	近接戦闘車用機関砲システムの研究	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持及び管理（研究開発）	実施時期	平成17年6月～8月

<p><b>事業の内容</b></p> <p>89式装甲戦闘車及び87式偵察警戒車の後継として、普通科部隊及び偵察部隊に装備し、敵装甲戦闘車両等を撃破するとともに、機動的かつ継続的に情報を収集するために使用する近接戦闘車に搭載する機関砲及び弾薬等の研究を行う。</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>完了年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>21年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">← 研究試作 →</td> <td>経費総額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">← 試験 →</td> <td>約29億円</td> </tr> </table>		18	19	20	21	完了年度						21年度		← 研究試作 →				経費総額					← 試験 →	約29億円
	18	19	20	21	完了年度																				
					21年度																				
	← 研究試作 →				経費総額																				
				← 試験 →	約29億円																				
<p><b>所要経費</b></p> <p>約11億円（平成18年度概算要求額。後年度負担額を含む。）</p>																									

<p><b>評価の内容</b></p> <p><b>事業の目的</b></p> <p>将来的に89式装甲戦闘車（装軌）と87式偵察警戒車（装輪）の後継として、多様な事態に迅速に対応することが可能な装輪車両を実現する上で必要となるコンパクトで迅速な弾種切替が可能な機関砲及び弾薬等に関する技術資料を得る。</p>	<p><b>事業実施の効果・時期</b></p> <p>1 事業実施の効果</p> <p>本事業により実現するCTA機関砲及び弾薬等により、89式装甲戦闘車及び87式偵察警戒車の後継である近接戦闘車は、各種事態に柔軟に対応する能力を有することが可能になる。</p> <p>さらに、装備の共通化により、運用性の向上、ライフサイクルコストの抑制等が可能となる。</p>
<p><b>事業の必要性・適正性</b></p> <p>89式装甲戦闘車及び87式偵察警戒車の後継である近接戦闘車には、多様な事態に適した火力の発揮が可能な機関砲の搭載が必要である。</p> <p>そのため、コンパクトで徹甲弾や調整破片弾など弾薬を状況に応じて柔軟に切り替えることが可能なCTA(Cased Telescoped Ammunition)機関砲及び弾薬等の研究試作を実施する本事業は、近接戦闘車実現のため必要かつ適正な事業である。</p>	<p>2 事業実施の時期</p> <p>平成18年から21年まで研究試作を実施し、試験を平成20年度及び21年度に実施予定である。</p>

<p><b>今後の対応</b></p> <p>本事業は、将来的な89式装甲戦闘車及び87式偵察警戒車の後継の開発に資するものと評価でき、平成18年度概算要求を実施する。</p>	<p><b>その他の参考情報</b></p>
--	------------------------